

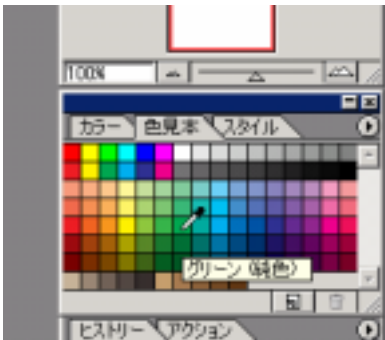
# 1、曲線を引く

マウスを使って自由な曲線を引きます。

① ブラシツールを選択



② 色見本パレットから好きな色を選ぶ(色見本が表示されないときは[ウィンドウ] [色見本を表示]を選択して色見本パレットを出す)



③ ツールバーからブラシサイズを選択

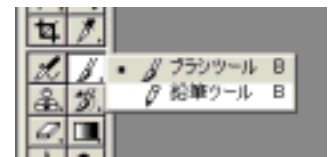
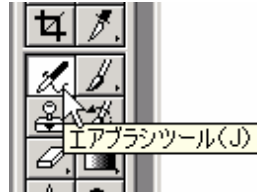


④ マウスでキャンバス内をドラッグする。



## ワンポイント💡

- ・ 線を引くのに失敗した場合など、直前の動作を取り消したい場合は[編集] [1段階戻る]を選択すると直前の動作を取り消すことができます。[1段階戻る]を何度も実行すればどんどん過去の動作をさかのぼることができますが、戻れる回数には限界があります(初期設定では20回)
- ・ 1でブラシツールではなくエアブラシツールを使うとスプレーを吹き付けたような端が柔らかな線に、鉛筆ツールを使うと端がシャープな線を引くことができます。



- ・ Shift キーを押しながら線を引くと、45度単位のまっすぐな直線を引くことができます。
- ・ Alt キーを押しながら画面をクリックすると、クリックした場所の色を得ることができます。

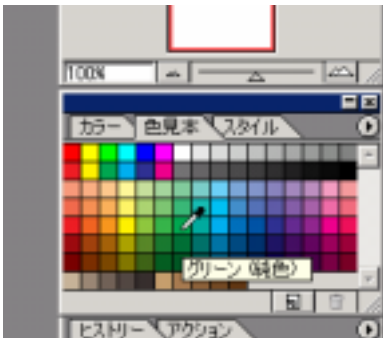
## 2、色を塗る

塗りつぶしツールを使って画面を塗りつぶします。

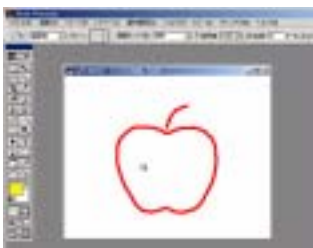
- ① 塗りつぶしツールを選択(塗りつぶしツールの代わりにグラデーションツールが出ている場合は、グラデーションツールのボタンをマウスで長押しすると塗りつぶしツールに切り替えることができます)



- ② 色見本パレットから好きな色を選ぶ(色見本が表示されないときは[ウィンドウ] [色見本を表示]を選択して色見本パレットを出す)



- ③ 色を塗りたい部分をクリック



### ワンポイント💡

- ・ ツールバーにある許容値の値を大きくすると、塗りつぶされる範囲が広がります。



元画像

許容値：32

許容値：128

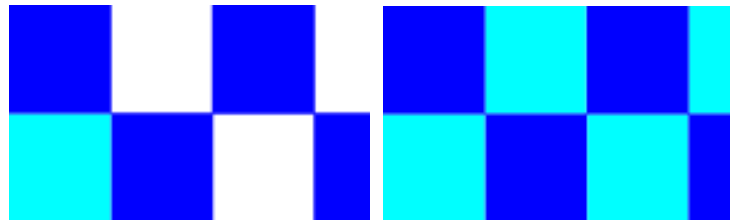
- ・ ツールバーで「アンチエイリアス」にチェックを入れると、塗りつぶしたときに境界が滑らかになります。



アンチエイリアスあり

アンチエイリアスなし

- ・ ツールバーで「隣接」のチェックをはずすと、クリックした場所と同じ色のところがすべて塗りつぶされます。



隣接チェックあり

隣接チェックなし

- ・ Alt キーを押しながら画面をクリックすると、クリックした場所の色を得ることができます。

### 3、消す

画像の一部を消去します。

① 消しゴムツールを選択



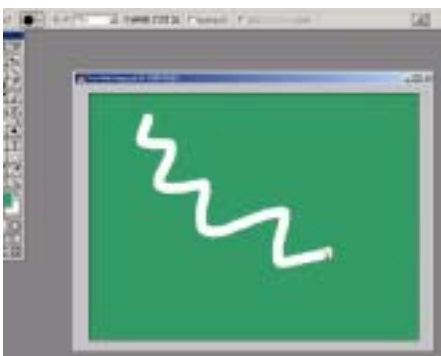
② 「背景色の設定」をクリックし、背景色を決定する。



③ ツールバーで「モード」および「ブラシサイズ」を設定する。



④ 消したい箇所をドラッグすると、背景色で塗りつぶされます。



### ワンポイント💡

- ・ 消しゴムツールではなく背景消しゴムツールを使うと、中心の×のある場所の色のみを消去することができ、細かな部分の消去が容易に行えます。



- ・ マジック消しゴムツールを使うと、クリックした場所と同じ色の場所がすべて消去されます。消去する色の範囲はツールバーの「許容値」で設定可能です。



## 4、選択範囲を作成する

編集する画像に選択範囲を作成すると、塗りつぶし、消去といった編集作業を適用する領域を限定することができます、作業効率を上げることができます。

- ① 矩形選択ツールを選択(他のツールが選択されているときはボタンをマウスで長押しすると切り替えることができます)

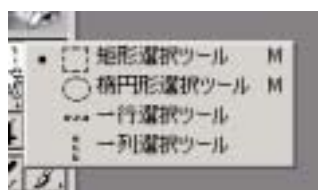


- ② 選択したい範囲をドラッグする。



### ワンポイント💡

- ・ 選択ツールには以下の種類があります。



#### ■ 矩形選択ツール

長方形の選択範囲を作成します。Shift キーを押しながらドラッグすると正方形の

選択範囲を作成することができます。

#### ■ 楕円選択ツール

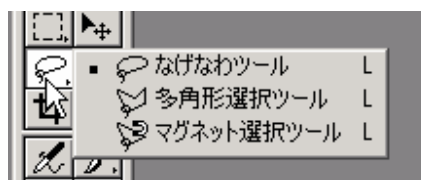
楕円形の選択範囲を作成します。Shift キーを押しながらドラッグする都心円形の選択範囲を作成することができます。

#### ■ 一行選択ツール

横 1 ピクセルの選択範囲を作成できます。

#### ■ 一列選択ツール

縦 1 ピクセルの選択範囲を作成できます。



#### ■ なげなわツール

マウスでドラッグすることにより、自由な形をした選択範囲を作成することができます。

#### ■ 多角形選択ツール

直線で囲まれた選択範囲を作成することができます。ダブルクリックまたは始点をクリックすることにより選択範囲を閉じることができます。

#### ■ マグネット選択ツール

画像から自動的に境界線を探し出し、その境界線に吸い付くように選択範囲を作成します。選択している最中にマウスをクリックすると、そこに固定ポイントが作られます。ツールバーで「幅」を指定すると境界線の検索範囲を設定することができます。



#### ■ 自動選択ツール

連続した色の領域を選択します。選択する色の範囲はツールバーの「許容量」で設定でき、その値が大きいほど広い範囲を選択します。

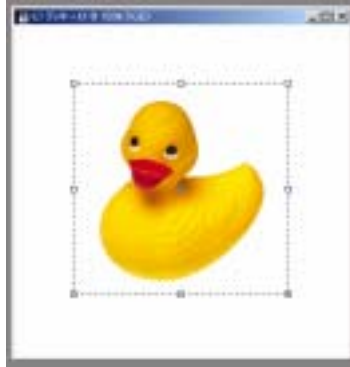
- ・ Shift キーを押しながら選択ツールで範囲を選択すると、既存の選択範囲に範囲を追加できます。Alt キーを押しながらだと選択した範囲を削除できます。
- ・ Ctrl キーを押しながら選択範囲をマウスでドラッグすると、選択された画像を移動できます。さらに、Ctrl キーを押しつつ Alt キーを押しながらドラッグすると選択された画像をコピーできます。
- ・ 選択を解除する場合は、いずれかの選択ツールを選択した状態で画像上の選択されていない範囲をクリックしてください。または[選択範囲] [選択範囲を解除]を実行します。
- ・ [選択範囲] [色域選択]を実行すると、指定された色をすべて画像上から選択します。許容量を調節すれば、選択する色の範囲を調整できます。

## 5、自由変形

選択された画像を回転させたり拡大縮小させたりします。

① 変形したい範囲を選択ツールで選択します。

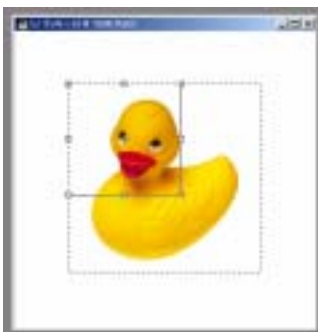
② [編集] [自由変形] を選びます。選択範囲の周りにバウンディングボックス(ハンドル)がついた選択範囲が表示されます。



③ 画像を回転させるには、角のハンドルの外側にマウスポインタを合わせ、ポインタが↻に変わったら、回転させたい方向にドラッグします。中心点を移動させると回転の基点となる場所を変更することができます。Shift キーを押しながらドラッグすると 15° 単位で回転させることができます。



④ 画像を拡大・縮小させるには、角のハンドルの上にマウスポインタを合わせ、ポインタが↻になったらドラッグします。Shift キーを押しながらドラッグすると縦横の比率を保ったまま拡大・縮小でき、Alt キーを押しながらだと中心点を基準に拡大縮小できます。



Shift キーを押しながら



Alt キーを押しながら

⑤ 画像の位置を移動するにはバウンディングボックスの内側の中心点以外の部分にポインタを合わせてドラッグします。

⑥ 画像の変形が終わったらツールバーのボタンか Enter キーを押して変形を適用します。

### ワンポイント💡

- Enter キーを押したりして変形を確定する前に Esc キーを押すと、最初から自由変形の操作をやり直すことができます。

## 6、変形

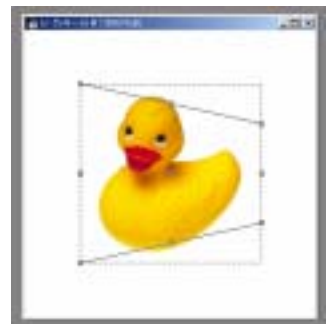
傾けたりゆがめたりといった複雑な変形を行います。

① 変形したい範囲を選択ツールで選択します。

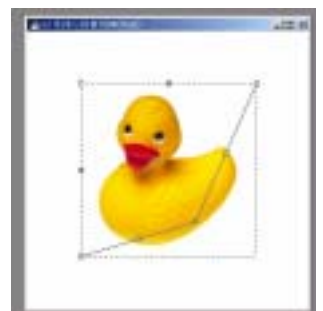
② 画像をゆがませる場合は、[編集] [変形] [ゆがみ]を選びます。選択範囲の周りにバウンディングボックスが表示されたら各辺の中心にあるハンドルをドラッグすると、その辺に沿って画像を傾けることができます。



③ [編集] [変形] [遠近法]を選ぶと辺の中心に沿って画像を変形することができます。



④ [編集] [変形] [自由な形に]を選ぶと、各ハンドルをドラッグして不定形な形に変形することができます。





## 7、レイヤー



一番上のレイヤーに配置されたシマウマ



レイヤーの透明部分では、下の各レイヤーが透けて見える

Photoshop では画像をひとつ以上の「レイヤー」をつかって管理しています。レイヤーとは画像上に重ねた透明なフィルムのようなもので、レイヤー上の何も無い部分は下のレイヤーが透けて見えます。個々のレイヤーはほかのレイヤーに影響を与えることなく単独で編集、移動、削除できます。

- ① [レイヤー] [新規レイヤー]を実行すると新しいレイヤーが作成されます。新しいレイヤーは現在アクティブなレイヤー(レイヤーパレットで選択されているレイヤー)の上に作られます。
- ② 新規作成したレイヤーは、はじめは透明です。ペイントツールや編集ツールを使用することによりそのレイヤー画像を変更することができます。ペイントと編集は、アクティブレイヤーに対して行われます。
- ③ レイヤーパレット内でレイヤーのリストをドラッグすると、順序を入れ替えることができます。

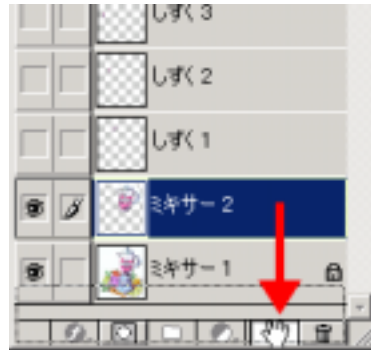


- ④ レイヤーパレット内の「レイヤーの表示の切り替え(👁️アイコン)」をクリックすると、レイヤーを画面上から隠すことができます。もう一度クリックすると表示されます。
- ⑤ レイヤーを移動するには、移動したいレイヤーをレイヤーパレットで選択し、移動ツール(👉+)を使ってドラッグします。そのさい、👁️アイコンの右側をクリックすると👁️アイコンが表示され、現在選択中のレイヤーとリンクされたこととなります。リンク

されているレイヤーを移動するとリンクしているレイヤーも同時に移動されます。もう一度クリックすると解除されます。

### ワンポイント💡

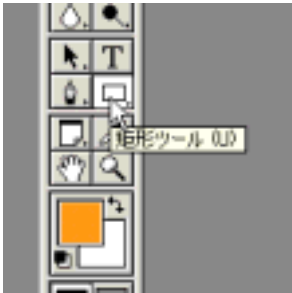
- Ctrl キーを押しながら画像をドラッグすると、レイヤーを移動することができます。
- レイヤーパレット内の「新規レイヤーを作成」ボタン(📄)をクリックすると新しいレイヤーを作成することができます。また、リスト内のレイヤーをドラッグして「新規レイヤーを作成」ボタンにドロップするとそのレイヤーを複製します。



- レイヤーパレット内のレイヤー名のリストを Ctrl キーを押しながらクリックすると、レイヤー内の不透明部分を選択します。また、Ctrl+Shift を押しながらだと選択範囲を追加、Ctrl+Alt だと選択範囲を削除します。
- レイヤーを削除する場合は[レイヤー] [レイヤーを削除]を実行するかレイヤーパレット内のリストをパレット右下のゴミ箱アイコン(🗑️)にドラッグアンドドロップしてください。

## 8、図形を描く

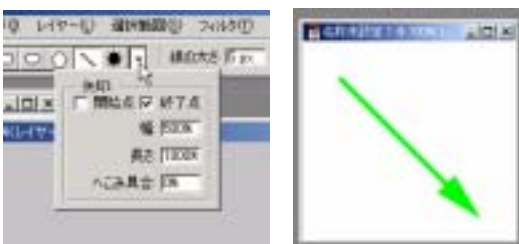
- ① シェイプツールを選択します(シェイプツールにはいくつか種類があり写真と違うツールが表示されているかもしれませんが、ツールバー内の場所が矩形ツールと同じなら問題ありません)



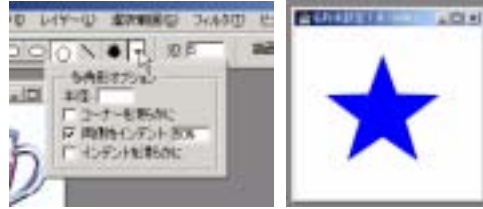
- ② ツールバーで「塗りつぶした領域を作成」を選択します。



- ③ 長方形を描く場合はツールバーで矩形ツール(□)を選択し、画像上でドラッグします。
- ④ 直線を引く場合は、ラインツール(\\)を選択しマウスでドラッグします。Shift キーを押しながらドラッグすると 45° 単位で線を引くことができます。
- ⑤ 正多角形を描く場合は多角形ツール(◇)を使用します。角の数はツールバーの「辺」で指定できます。
- ⑥ カスタムシェイプツール(✱)を使用すると、登録されている図形を描くことができます。図形はツールバーの「シェイプ」で変更することができます。
- ⑦ 矢印を引く場合は、直線を引く場合と同様にラインツール(\\)を選択した状態で幾何学オプション( )を選択し、開始点または終始点にチェックをつけドラッグします。幅、長さはそれぞれ線の太さを基準としており、幅を 500%にすると矢印のかさの幅が線の太さの 5 倍になります。



- ⑧ 星型を描く場合は多角形ツール(◇)を選んだ状態で幾何学オプション( )を選択し、「両側をインデント」にチェックマークを入れます。すると多角形の辺の中心が図形の中央に向かって折れ曲がって表示されます。値は辺の中心と図形の中心を結んだ線の長さが基準です。



### ワンポイント💡

- 2 で「新規シェイププレイヤーを作成」(□)を選ぶと、図形が点と線で構成されたベクトルデータとして描かれます。この場合「パス選択ツール」(⤴)を使って頂点を移動させると図形を自由に変形させることができるようになります。